

令和4年第4回北海道議会定例会 予特（第1分科会） 開催状況（環境生活部）

開催年月日 令和4年12月9日（金）  
 質問者 日本共産党 宮川 潤 委員  
 答弁者 スポーツ局長 高見 芳彦  
 オリンピック・パラリンピック連携室長 鏡 法裕

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p><b>一 札幌オリンピック・パラリンピックについて</b></p> <p><b>（一）開催にかかる経費の札幌市との協議について</b>                      真駒内競技場の修繕費用について札幌市が発表した計画におきましては、道所有の真駒内屋内競技場のバリアフリー対応の改修にかかる経費を4億円と見積もったようであり、オリンピック開催にあたっては、開催費用以外に道の負担が発生すると思っておりますけれども、この点いかがですか。</p> <p>職員派遣と警備などということでありましたけれども、そこが負担としては非常に大きいことになるというふうに思います。</p> <p><b>（二）不適格会場について</b>                      次に会場の問題についてでありますけれども、自衛隊丘珠駐屯地に隣接する札幌市スポーツ交流施設であります「つどーむ」を、フィギュアスケート会場としておりましたけれども、ヘリコプターなどの騒音が激しく音楽が聞こえなくなるなど、想定していた会場が不適格だとされ変更が迫られております。そのような会場と、変更案についてどう把握されてますか。どう対応されますか。伺います。</p> <p>他にもスピードスケート会場など様々報道されております。</p> <p>開催地決定がずれ込んでいることと併せてこれからオリンピックの条件に合う会場確保は、非常に厳しい事態と言わざるを得ません。</p> <p><b>（三）市民・道民生活への影響について</b>                      開催される場合ですけれども、五輪開催期間の前後は、交通規制、交通渋滞、会場とされているところが長期間に渡り住民使用が制限されることなど道民生活に様々な影響が出るのが予想されます。どのような影響を想定されていらっしゃいますか、伺います。</p> <p>札幌市及び周辺の住民は、昨シーズンの冬の大雪に大変な思いをしました。</p> <p>除雪車が来るまで何日もかかる。その間、交通障害が続きました。</p> <p>大雪など天候の影響は無視できず、除雪作業がオリンピック関連施設優先で、生活道路が後回しにされるようなことがあったら、住民の不満は大変なことになると考えられ</p>	<p><b>（オリンピック・パラリンピック連携室長）</b>                      開催に係る経費についてでございますが、オリパラの開催が実現した場合には、大会組織委員会が設立されることになっており、過去の例によりますと、職員の派遣や開催にあたっての安全な実施体制の確保といたしまして、関係機関による警備のほか、聖火リレーなど広域的な機運醸成の取組が見込まれるところでございます。</p> <p><b>（オリンピック・パラリンピック連携室長）</b>                      競技会場についてでございますが、札幌市が公表した新たな大会概要案では、フィギュアスケート競技の会場といたしまして、市が所有するスポーツ交流施設コミュニティドーム「つどーむ」が会場候補となっているところでございます。</p> <p>市からは、会場の変更につきまして、国際競技連盟から正式に何らかの意思が示されたわけではなく、現在の計画を前提に、関係機関等と協議を進めると伺っているところでございます。</p> <p>道といたしましては、まずは市において、国内の競技団体をはじめ関係者の皆様にご理解をいただけるよう、丁寧な説明と協議を行うことが必要と考えているところでございます。</p> <p><b>（オリンピック・パラリンピック連携室長）</b>                      市民生活への対応についてでございますが、札幌市では新たな大会概要案において、競技会場への大会関係者や観客の移動に伴う交通混雑、大雪時における除排雪など市民生活への影響も想定しており、交通手段の転換などによりまして、過度な交通需要の集中を防ぐとともに、冬季における「排雪作業の早期対応や強化」など、安全・安心な道路環境を確保し、円滑な大会運営と市民生活への影響軽減を図ることとしているものと承知しております。</p>

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>ます。</p> <p><b>(四) 東京オリンピックの負の影響について</b> 次に、東京オリンピックでの談合等の不正が底なしの様相を呈し、スポーツの祭典の仮面をかぶって汚れたカネが飛び交うイベントと、オリンピックのイメージが変わりつつあると感じている道民も多いのではないのでしょうか。東京オリンピックの談合等の負の影響について、どう捉えているか伺います。</p> <p><b>(五) 道民の意識、支持について</b> オリンピック開催に伴う費用負担の懸念を申し上げます。次に会場変更を迫られているなど準備の杜撰さについて指摘しました。交通問題など住民生活への影響、そして談合等によるイメージの悪化、オリンピックに対する逆風ばかりが感じられます。3月に行われた札幌市民へのアンケート調査では開催賛成が多数でしたが、その後の4月の北海道新聞、9月の朝日新聞が行った世論調査ではいずれも反対が上回っております。オリンピックはその規模からも、住民の圧倒的な支持と熱烈な応援のもとで行われてこそ、成功できるものだと考えます。道民の現状は、圧倒的支持と熱烈な応援とは言えないのではないですか。道民意識に関する道の認識を伺います。</p> <p><b>(六) 五輪開催自体の可否について</b> I O C 委員であるフェンシングのメダリスト太田氏は「歩みをいったん止めようという判断も持つておくべき。走り始めた列車が止められないというようなことがあっては良くない」というので、東京五輪の大会組織委員会会長であった橋本聖子参議も「非常に厳しいと思っています。」と意見を述べています。オリンピックなどの大型イベントに経済効果等を依拠のでなくて、持続可能性を重視する行政への発展を期待し、2030年冬季オリンピック・パラリンピックの札幌開催には反対する声が強まる一方であり、道として再考が必要ではありませんか、伺います。</p> <p>札幌市民の中では、五輪反対の声は意外といえるほど強いと感じています。五輪のイメージが変わりつつあると感じています。高度経済成長期とは住民が求めるものが大きく変わって、大資本を投入して環境負荷の大きい大イベントへの期待は次第に減っていると、道としてこういったことを十分受け止めるべきであります。</p> <p>知事にこの点について直接伺いたいと思いますので、委員長の取り計らいをお願いいたします。</p>	<p><b>(オリンピック・パラリンピック連携室長)</b> 東京大会を取りまく問題についてでございますが、札幌市が招致に向けた取組を進めている中で、東京オリパラを巡る汚職や談合事件による影響が生じることへの懸念の声があることは承知しております。</p> <p>スポーツ庁では、「大規模な国際又は国内大会の組織委員会等のガバナンス体制等の在り方検討プロジェクトチーム」を設置し、東京大会組織委員会の問題点の洗い出しを行い、今後開催される大規模な国際大会の運営の透明化、公正化を図るための指針を策定することとしているところであり、道といたしましても同様の事件が生じないような対応をとっていただく必要があると考えております。</p> <p><b>(スポーツ局長)</b> 道民の意識についてでございますが、招致の主体となる札幌市におきましては、市民や道民を対象に実施いたしました意向調査の結果や各種団体からの要望などを総合的に判断した上で、招致を進めておりますが、開催経費等への不安や懸念など様々なご意見があるものと承知しております。</p> <p>招致に向けては、新たな大会概要案で掲げる開催の意義や大会のコンセプトに加え、大会運営費や運営面での「透明性・公正性の確保」も含めて、札幌市民の皆様はもとより、道民や国民の皆様のご理解をいただくことが重要と考えております。</p> <p><b>(スポーツ局長)</b> 2030年冬季オリパラについてでございますが、招致に向けては、様々なご意見があるものと承知しておりますが、招致の主体となる札幌市では、クリーンな大会を目指した新たな大会概要(案)を先月公表したところであり、スポーツ庁やJ O C などスポーツ関連団体におきましても、今後の大規模な国際競技大会の開催に向けて、「ガバナンス」と「情報開示」に関する検討会議を設置し、再発防止に向けた検討を進めているところでございます。</p> <p>道としては、原則として税を投入しない大会運営や既存施設を最大限活用するとした大会コンセプトなどを尊重するとともに、国における透明性及び公正性の確保に向けた取組も注視しながら、札幌市やJ O C と連携・協力してまいります。</p>